



## インフォマティカ、8年連続でリーダーに位置付けられる

現代の企業は、かつてない膨大な量のデータを扱い、また扱うデータの種類も増え続けています。

それら全ての情報を効果的に活用し、かつ、情報の意味を正しく理解することなくして、今日のビジネスで競争優位性を保つことはできない、これは疑う余地のないところです。しかし、ビジネスの俊敏性を高めようとするならば、まず開発の俊敏性、エンタープライズ規模のスケラビリティ、運用するシステムの信頼性の実現から始める必要があります。

これは、データ統合のライフサイクル全般にわたる、エンドツーエンドのデータ統合の俊敏性が必要であることを意味します。

解決すべき課題は何か、また、インフォマティカが8年連続でこの分野のリーダーに位置付けられているのはなぜかを知るには、ガートナーの「データ統合ツール分野のMagic Quadrantレポート」<sup>1</sup>をご覧ください。

インフォマティカのデータ統合ソリューションは、次の独自のアプローチを組み込むことでお客様のビジネスの俊敏性を向上するように設計されています。

- 迅速なスタートを切り、データ統合プロジェクトを数か月ではなく数日のうちに提供する
- アナリストのセルフサービス機能により、ビジネスユーザーとIT部門のコラボレーションを促進する
- 容易なスケールと深い洞察により、ビジネスニーズを支援する
- データ検証試験とプロアクティブな監視によりミッションクリティカルな展開を支援する

レポートの全文をお読みいただければビジネス固有のニーズと開発シナリオにとってどのサービスとソリューションが現時点で最適なのかを、簡単に見極める方法を知ることができます。

詳細はこちら - [ガートナーのデータ統合分野のMagic Quadrantレポートをダウンロードする。](#)

データ統合ツール分野のGartner Magic Quadrant



このグラフはGartner, Inc.によって発行されたもので、大量のリサーチ文書の一部です。このグラフのみで評価することのなきようにお願いいたします。ガートナーの資料を請求したい場合は、[こちらから](#)インフォマティカまでお問い合わせください。

ガートナーは、マジック・クアドラント内に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また「リーダー」クアドラント内に位置付けられたベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。Gartnerのリサーチ発行物刊行物はGartnerのリサーチ部門のオピニオンを表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

<sup>1</sup> Gartner, Magic Quadrant for Data Integration Tools, Eric Thoo & Mark Beyer, July 2014.